

都立大学附属高校の中高一貫校への改編にともなう

中学校課程における教科書採択についての要請書

都立大学附属高校卒業生・元教職員有志の会
代表者 中村 正子
連絡先 目黒区中央町 1-14-16
03-3713-3172

都立大学附属高校が中高一貫校に改編されるにともない、中学校課程の1年生が来年度から入学することになり、そのための教科書採択が今年8月までに行われるとうかがっております。

昨年、白鷗高校現場の教師や同窓生有志の署名などの意見をいっさい聞くこともなく、都教育委員会によって白鷗高校附属中学に扶桑社版歴史教科書が採択・導入されたことに、私たちは心からの怒りと危惧の念を抱いています。それは、今後、日本とアジア各国に平和・友好・信頼の関係を築いていくために、次世代を担う中高生には、事実に基づき広い視野に立った独善的ではない歴史認識こそが必要であると考えからです。

とりわけ、教育現場の声にまったく耳を傾けず、中高一貫中学校の教科書採択を都教育委員会が一方的に決定することは、教育のあり方としてきわめて不当なことです。

そこで、来春に都立大学附属高校が中高一貫校に改編されるにともなう教科書採択について、以下の通り署名を添えて要請いたします。

1. 中高一貫教育をうたうのであれば、教科書の採択にあたっては、当然に現在の高校課程に在職する教職員の意見が尊重されるべきです。そうしなければ、中高の一貫性が失われることとなります。よって、来年度入学する中学生用教科書の採択は、都立大学附属高校に在職する教職員の意見にもとづいて行ってください。
2. 都立大学附属高校は「国際化」を重視した教育を行ってきています。中高一貫校への改編にあっても、これまで積み上げてきた教育目標と実績の特色を尊重し、それにふさわしい教科書が採択されることが望ましいと考えます。それぞれの学校の特色や実績を無視して東京都教育委員会が一律に同一の教科書を採択して現場に押しつけないでください。

氏 名	住 所